

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	Hitsujigumo・Sun	事業所番号	2111100679
住 所	岐阜県多治見市本町 3 丁目 3 - 5	管理者名	宮崎里美
電話番号	0572-25-3485	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所： 当事業所 実施日程： 2024年5月17日 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要： 豊田合成(株)のエシカルブランドのR-sの商品の一部を製作している。その際に使用する生地であるエアバッグの理解を深めるため、連携企業伊藤様を招き、お話を伺う 参加人数： 14人	<活動の様子> 
<目的> 豊田合成(株)からエアバッグがどのような想いで作られているのか、どのように作られているのか知る。その後、SDG s の取り組みの資料を使って、事業所が利用しているエアバッグを使用する意味についての理解を含める。 企業の姿勢を理解し、作業のに対する意識向上につなげることを目的とする	
<成果> 今回の講義を通して「製品の安全性確保に対する企業の責任」や「環境への配慮」といった理念や課題について深く学ぶことができた。普段の作業では意識しにくい「なぜこの作業が重要なのか」「どうして丁寧さが求められるのか」といった背景を知ること、作業一つひとつに対する責任感が高まった。また、「再利用して新しい価値を生む」ことの大切さを理解する中で、単なる就労支援の利用者ではなく、社会の一員として意義のある仕事を任されているという意識が芽生え、働く意欲の向上にもつながった。 課題点 SDG s に対し、環境問題だとわかりやすいが、多様性やエシカル消費などの説明になるとイメージしにくい点があった。もっと分かりやすい言葉で説明や例えて伝えるべきだった。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

豊田合成(株)の担当者様より、「エアバッグ製造の現場や理念について関心を持ち、熱心に学ぼうとする姿勢が見られて嬉しかった」との声をいただいた。また、SDGsに関連した取り組みに対しても積極的に質問があり、「再利用」や「資源の循環」に対する理解が深まっていた点を評価された。一方で、「多様性やエシカル消費といったテーマについては、もう少し具体的な事例を交えるとより理解が進むだろう」とのアドバイスもあった。	
連携先企業（担当者）	豊田合成(株) 伊藤 サービス管理責任者 宮崎

利用者からの意見・評価

・自分が普段作っている布（エアバッグ生地）がどのように作られ、どうしてエアバッグ生地を使った商品を作るのかわかった。 ・表があって分かりやすかった。話を聞き、大切な仕事の1部だと実感し、良い商品を作らないという気持ちになった。	・知らない
---	--------------